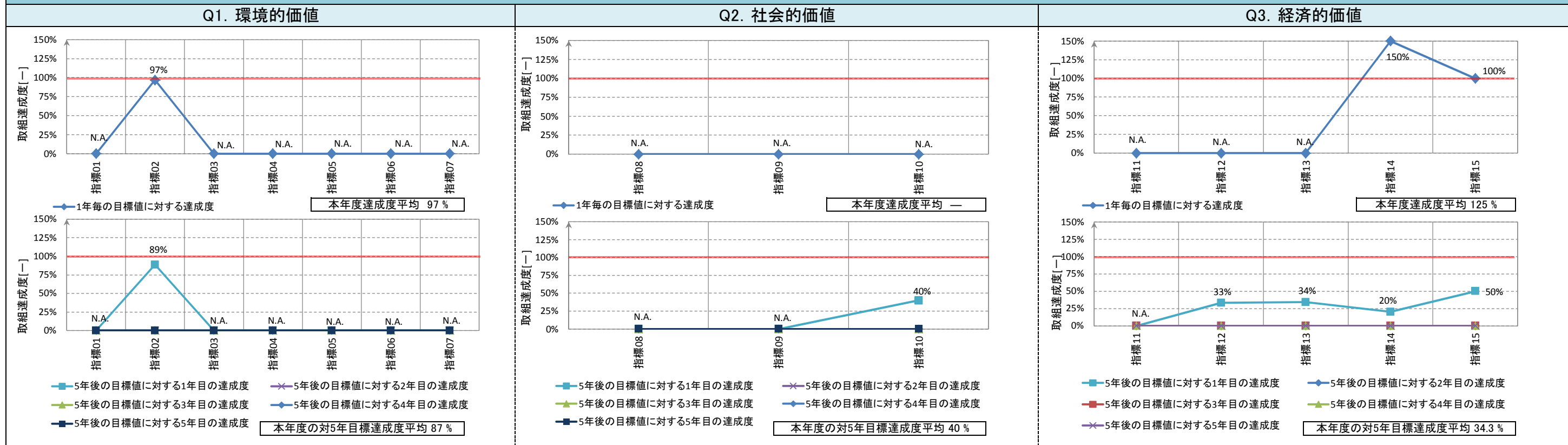


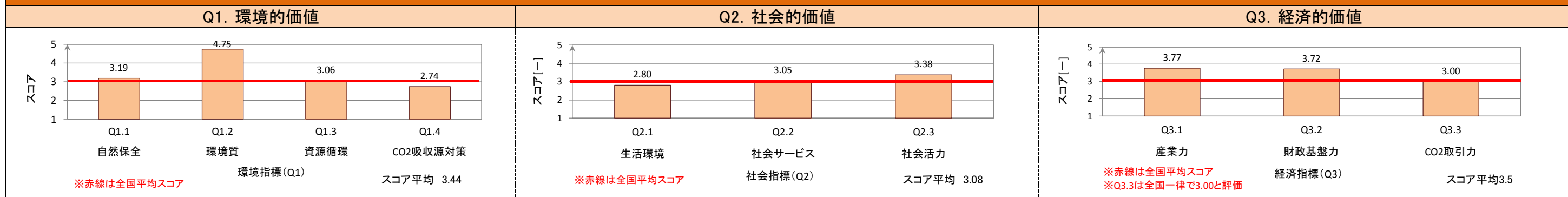
評価結果総括表 (2013年暫定版)

富山県 富山市	人口: 420,496人 世帯数: 167,942世帯(平成24年3月末現在) 就業人口: 208,790人(平成22年10月1日現在) 市内GDP: 1.97兆円(平成22年度) 面積: 1,241.85km ² (うち森林面積859.83km ²)	平成24年度の 取組の都市総括	本市の中心戦略であるコンパクトシティの推進において、その中核事業である「LRTネットワークの形成」については、着実に事業を進捗させている。また、その他の事業に関しては、事業の具体化に向けた検討を行う中で、「農工商連携による環境と健康をテーマとした多様なビジネスの推進」において、牛岳温泉熱を活用したエゴマ植物工場を中核に中山間地で6次産業化を推進する取組や「地域コミュニティ主体の交流空間の整備・運営モデル」において、空き地に地域コミュニティが主体で運営する市民農園を開設する取組など、いくつかの事業が事業化されているとともに、「海洋バイオマスを使った自律型エネルギー・資源循環システムの導入」「バイオガスネットワークによるエネルギー循環システムの整備」「再生可能エネルギーを活用した農業活性化」「ヘルシー&交流タウンの形成」の4プロジェクトでは事業の具体化を目指した各種調査事業を実施した。総じて、計画に位置づけた取組は着実に推進できているものと考えられる。
--------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

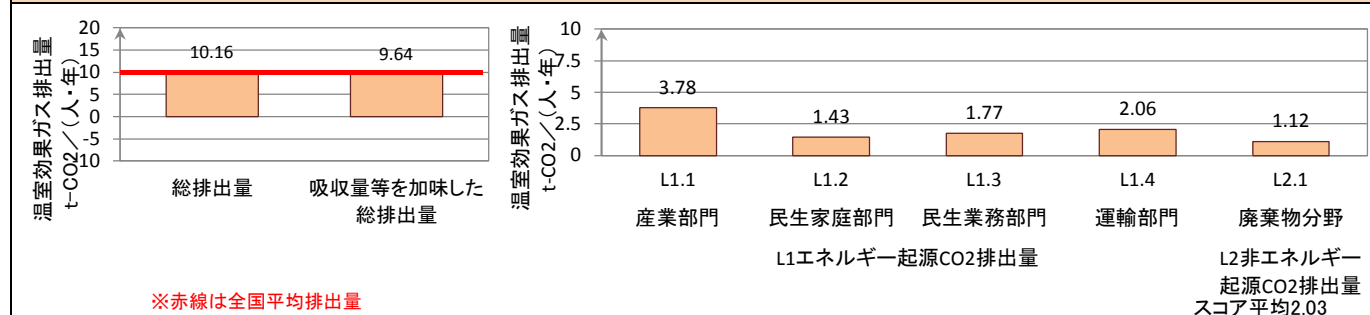
フロー評価結果(取組進捗評価(自主評価))



ストック評価結果(CASBEE都市評価(統計データ)) ※統計データは2010年のもの。都市の現状値を評価



L. 環境負荷(CO2排出量)



推進ボードからのコメント

概ね順調な進捗状況にあると考えられる。

推進委員会からのコメント

- 環境・高齢化対応について他の都市にはない先進的な取組が見られる。富山モデルの構築を目指して頑張って貰いたい。
- 高齢者に対して、単に暮らしやすいだけでなく、働く場所を提供している点が素晴らしい。具体的な拡充数値目標を持って今後も取り組んで欲しい。
- 富山市はLRTコンパクトシティとして優れているが、エネルギーの観点からのアプローチも積極的に取り組んで欲しい。

評価指標リスト

指標番号	価値分類	評価指標
指標01	環境	公共交通利用者数(人)
指標02	環境	便利な公共交通の徒歩圏に住む居住人口の割合
指標03	環境	運輸部門からのCO2排出量(千トン-CO2)
指標04	環境	家庭部門からのCO2排出量(千トン-CO2)
指標05	環境	再生可能エネルギー(海洋バイオマス)の導入量(GJ/年)
指標06	環境	再生可能エネルギー(バイオガス)の導入量(GJ/年)
指標07	環境	再生可能エネルギー(小水力等)の導入量(GJ/年)
指標08	社会	健康な高齢者の割合
指標09	社会	介護保険在宅サービスを利用する高齢者の割合
指標10	社会	里山ボランティア団体数
指標11	経済	製薬関連企業の出荷額(億円)
指標12	経済	6次産業化法・総合化事業計画認定者数
指標13	経済	認定農業者の占める経営面積比率
指標14	経済	林地集約化面積(ha)
指標15	経済	森林由来バイオマスの再生可能エネルギー利用量(GJ/年)

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日:平成25年5月31日
 作成者(部署/氏名):富山市環境部環境政策課 中村主任
 承認者(部署/氏名):富山市環境部環境政策課 高田副主幹

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	各種統計資料	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	協議会規則	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	体制図	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために「富山市環境未来都市庁内推進本部」が設置されており、かつ実行されている。	設置要綱	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	「環境未来都市」構想推進協議会並びに環境未来都市と趣旨を同じくする「プラチナ構想ネットワーク」(111自治体が参加)と連携をしている。	プラチナ構想ネットワークHP	✓	
	成功事例を他へ展開するために、「環境未来都市」構想推進協議会並びに「プラチナ構想ネットワーク」の参加自治体との連携体制の構築を予定している。	プラチナ構想ネットワークHP	✓	
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。	環境未来都市計画書	✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	協議会規則	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	協議会規則	✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	富山市HP	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市計画書	✓	
	定期的な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。	環境未来都市計画書	✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市計画書	✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	環境未来都市計画書	✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている。	環境未来都市計画書	✓	
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。	環境未来都市計画書	✓	
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	環境未来都市計画書	✓	

是正処置への対応の詳細
 なし

代表者による確認
 なし ※是正処置なし

推進ボードによる確認
 概ね順調な進捗状況にあると考えられる。

推進委員会による確認
 特段ご意見なし。

(参考)取組進捗状況一覧

環境未来都市計画での記載内容												1年目(2012年度)の達成状況							
都市名	取組番号	取組	指標番号	評価指標	価値分類	評価方法	基準値	1年目の目標値	2年目の目標値	3年目の目標値	4年目の目標値	5年目の目標値	1年目の目標値	1年目の実績値	単年度の達成度	5年目標に対する達成度	進捗状況説明		
富山県 富山市	取組01	LRTネットワークの形成	指標01	公共交通利用者数(人)	環境	定量評価	62,432	62,708	-	-	-	64,000	62,708	-	N.A.	N.A.	①富山ライトレールと市内電車の接続工事の施工に向けた軌道工事施工認定書を提出した。 ②富山地方鉄道上滝線LRT化(構想)測量結果をもとに交通事業者と協議中。 ③富山ライトレールの複線化複線化に向けた道路拡幅工事および電線類地中化工事を施工中。 ④市内電車環状線での新停留所の設置。新停留場「中町(西町北)」を整備し、H25.5.17に共用開始した。事業を着実に推進することにより、公共交通の利便性の向上および公共交通利用者数の増加を目指す。		
			指標02	便利な公共交通の徒歩圏に住む居住人口の割合	環境	定量評価	-	0.32	-	-	-	0.35	0.32	0.31	97%	89%			
			指標03	運輸部門からのCO2排出量(千トン-CO2)	環境	定量評価	1037	916	-	-	-	-	847	916	-	N.A.		N.A.	
	取組02	異なる交通モード間の連携強化	指標01	公共交通利用者数(人)	環境	定量評価	62,432	62,708	-	-	-	-	64,000	62,708	-	N.A.	N.A.	富山地方鉄道不二越・上滝線沿線の月岡駅、大庄駅、上滝駅において、パーク&ライド駐車場を整備し、公共交通の利便性の向上および公共交通利用者数の増加を目指す。	
			指標02	便利な公共交通の徒歩圏に住む居住人口の割合	環境	定量評価	-	0.32	-	-	-	-	0.35	0.32	0.31	97%	89%		
			指標03	運輸部門からのCO2排出量(千トン-CO2)	環境	定量評価	1037	916	-	-	-	-	847	916	-	N.A.	N.A.		
	取組03	公共交通軸としてのバス交通のサービス水準の充実	指標01	公共交通利用者数(人)	環境	定量評価	62,432	62,708	-	-	-	-	64,000	62,708	-	N.A.	N.A.	ノンステップバス車両の導入(H24年度までに計7台導入)やバス停上屋の整備(H24年度までに計20基整備)、パーク&バスライド駐車場の整備(H24年度までに大沢の地域で3箇所設置)を行った。公共交通の利便性を向上することにより、公共交通利用者数の増加を目指す。	
			指標02	便利な公共交通の徒歩圏に住む居住人口の割合	環境	定量評価	-	0.32	-	-	-	-	0.35	0.32	0.31	97%	89%		
			指標03	運輸部門からのCO2排出量(千トン-CO2)	環境	定量評価	1037	916	-	-	-	-	847	916	-	N.A.	N.A.		
	取組04	セーフ&環境スマートモデル街区の整備	指標02	便利な公共交通の徒歩圏に住む居住人口の割合	環境	定量評価	-	0.32	-	-	-	-	0.35	0.32	-	N.A.	N.A.	候補地を選定し、事業のケーススタディを実施中。その結果を踏まえ、モデル街区を整備し、便利な公共交通の徒歩圏に住む居住人口の増加を目指す。	
			指標04	家庭部門からのCO2排出量(千トン-CO2)	環境	定量評価	801	-	-	-	-	-	688	-	-	N.A.	N.A.		
	取組05	取組05	海洋バイオマスを使った自律型エネルギー・資源循環システムの導入	指標05	再生可能エネルギー(海洋バイオマス)の導入量(GJ/年)	環境	定量評価	0.3	-	-	-	-	160	-	-	N.A.	N.A.	富山湾より有望な藻類を抽出し、基礎研究を実施した。今後さらなる研究・分析を行うためNEDOの調査委託事業に事業提案中。	
	取組06	取組06	バイオガスネットワークによるエネルギー循環システムの整備	指標06	再生可能エネルギー(バイオガス)の導入量(GJ/年)	環境	定量評価	0.3	17,746	-	-	-	-	35,492	17,746	-	N.A.	N.A.	バイオガスの高効率なメタン発酵技術の開発を目指し、平成24年度に採択された環境省の実証研究事業を継続し、再生可能エネルギーの導入を推進する。
	取組07	取組07	再生可能エネルギーを活用した農業活性化	指標07	再生可能エネルギー(小水力等)の導入量(GJ/年)	環境	定量評価	0.3	-	-	-	-	-	18,144	-	-	N.A.	N.A.	プロジェクトチームで提案された事業案(農業・エネルギーの「見える化」事業及び地域での再生可能エネルギー導入モデル事業)について検討を進めるとともに、その円滑な実施のため環境省のFS調査に事業提案中。
	取組08	取組08	薬とやま薬用植物栽培工場の構築	指標11	製薬関連企業の出荷額(億円)	経済	定量評価	1,617	-	-	-	-	-	1,919	-	-	N.A.	N.A.	薬用植物の栽培工場に向け研究や事業に取り組む事業者に対する補助制度を創設し支援し、生薬等の国内外への販売・出荷を増進する。
	取組09	ヘルシー&交流タウンの形成	指標08	健康な高齢者の割合	社会	定量評価	0.827	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	N.A.	N.A.	高齢者等が中心市街地において安全安心に生活できる歩行者ネットワークを整備するため、「歩行補助車を用いた歩行支援の仕組みづくり」を実証実験として進め、健康な高齢者の増加を目指す。
			指標09	介護保険在宅サービスを利用する高齢者の割合	社会	定量評価	0.595	-	-	-	-	-	-	0.65	-	-	N.A.	N.A.	高齢者等が中心市街地において安全安心に生活できる歩行者ネットワークを整備するため、「歩行補助車を用いた歩行支援の仕組みづくり」を実証実験として進める。これにより自宅で健康に過ごすことのできる高齢者の増加を目指す。
	取組10	交通空間の利活用交流推進	指標08	健康な高齢者の割合	社会	定量評価	0.827	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	N.A.	N.A.	総務省の「ICT街づくり推進事業」として、ICTを活用した歩行者動態の収集・分析、まちあるき情報の提供等を行う「富山まちあるきICTコンシェルジュ事業」を実施中。高齢者の外出機会を創出し、健康な高齢者の増加を目指す。
			指標09	介護保険在宅サービスを利用する高齢者の割合	社会	定量評価	0.595	-	-	-	-	-	-	0.65	-	-	N.A.	N.A.	
	取組11	高齢者、障害者等に配慮した路面電車施設の整備	指標08	健康な高齢者の割合	社会	定量評価	0.827	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	N.A.	N.A.	県庁前停留場においては、実施設計を行うとともに各関係者と協議を行った。「LRTネットワークの形成」事業として、市内電車環状線にバリアフリーに対応した新駅「中町(西町北)」を整備した。高齢者が利用しやすい環境を整備し、活発な行動を促すことにより、健康な高齢者割合の増加を目指す。
			指標09	介護保険在宅サービスを利用する高齢者の割合	社会	定量評価	0.595	-	-	-	-	-	-	0.65	-	-	N.A.	N.A.	県庁前停留場においては、実施設計を行うとともに、各関係者と協議を行った。「LRTネットワークの形成」事業として、市内電車環状線にバリアフリーに対応した新駅「中町(西町北)」を整備した。高齢者が利用しやすい環境を整備し、活発な行動を促すことにより、健康な高齢者の割合を増やし、介護保険在宅サービスを受ける高齢者の割合増加を目指す。
取組12	地域コミュニティ主体の交流空間の整備	指標08	健康な高齢者の割合	社会	定量評価	0.827	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	N.A.	N.A.	町内の空き地において、町内会主体のコミュニティガーデンが整備された。行政としてもバックアップすべく、都心区域・公共交通沿線居住推進地区における空き地をコミュニティガーデンに整備するための補助制度を創設し、地域住民が自主的に持続的に進めていけるよう支援し、健康な高齢者の増加を目指す。	
		指標09	介護保険在宅サービスを利用する高齢者の割合	社会	定量評価	0.595	-	-	-	-	-	-	0.65	-	-	N.A.	N.A.	町内の空き地において、町内会主体のコミュニティガーデンが整備された。行政としてもバックアップすべく、都心区域・公共交通沿線居住推進地区における空き地をコミュニティガーデンに整備するための補助制度を創設し、地域住民が自主的に持続的に進めていけるよう支援する。これにより自宅で健康に過ごすことのできる高齢者の増加を目指す。	
取組13	6次産業化(農工商連携)による環境と健康をテーマとした多様なビジネスの推進	指標12	6次産業化法・総合化事業計画認定者数	経済	定量評価	2	-	-	-	-	-	6	-	2	N.A.	33%	先導的モデル事業費補助金の交付案件である牛岳温泉熱を利用した植物工場の建設に向けた設計を終え建設に着手するとともに、市内の食品・流通メーカー等による6次産業化推進グループを設立した。来年度の6次産業化計画申請・認定を目指す。		
		指標13	認定農業者の占める経営面積比率	経済	定量評価	0.293	-	-	-	-	-	-	0.7	-	0.24	N.A.	34%	先導的モデル事業費補助金の交付案件である牛岳温泉熱を利用した植物工場の建設に向けた設計を終え建設に着手するとともに、エゴマの特産化を目指し、露地栽培も含めた地元農業者の巻き込みを進めている。	
取組14	エコフォレストとやま(林地集約化事業)	指標14	林地集約化面積(ha)	経済	定量評価	0	40	-	-	-	-	500	40	102	255%	20%	森林経営計画における集約化が順調に進捗している。		
		指標15	森林由来バイオマスの再生可能エネルギー利用量(GJ/年)	経済	定量評価	370	1,000	-	-	-	-	2,000	1,000	1,000	100%	50%	木質ペレットの利用拡大が順調に進捗している。		
取組15	取組15	呉羽丘陵での「人と自然との共生&再生可能エネルギー」フィールドミュージアム形成	指標10	里山ボランティア団体数	社会	定量評価	4	-	-	-	-	10	-	4	N.A.	40%	インベンデンスボードワークの実施に向け、市民や企業等より寄付金を募集中。9月には事業開始予定。		